「諸国御関所書付」にみられる近世関所の現況調査

A PRESENT STATE RESEARCH ON PREMODERN CHECKPOINTS

中田 悟 —— * 1

勝又英明 —— * 2

Satoru NAKADA —— * 1

Hideaki KATSUMATA —— * 2

キーワード:

関所, 復元, 文化財, 史跡

Keywords:

Checkpoint, Restore, Cultural properties, Historic site

The purpose of this study is to collect basic data for the restore of premodern checkpoints.

For the reason of being lacking in the existence and restore of premodern checkpoints.

- (1) The promulgation on the abolition of premodern checkpoints by the Meiji Government.
- (2) Most premodern checkpoints were recognized to cultural place in the Showa period.
- (3) Development of national highways and rivers for the modernization of traffic.
- (4) Most premodern checkpoints were not reused for folk houses by reason of being lacking in the housing function.

1. 目的

近世の関所は江戸幕府の政治・交通の面において、極めて高い重要性を持つ建築物であるにもかかわらず、現在までに建築学的な観点から、十分な調査及び研究がなされていない。関所の跡地や配置構成、平面構成など全国の関所を比較・検討された例はない。

このような状況にもかかわらず、関所の復元を実施した地方自治体が幾つかあるなかで、今後は文化財保護に併せ、近世関所の整備が地域資源の有効活用による地域個性の形成及び積極的なまちづくりの貴重な足がかりとなることも期待される。そのためにも、現在の関所跡地の現況調査等の基礎的資料の整理及び考察など関所に関する調査・研究は不十分であり、その必要性は高いと言える。

そこで本研究ではこのような状況に着目し、近世関所の整備のための基礎的な資料を得ることを目的としている。

2. 研究方法

2. 1 調査対象

「諸国御関所書付」¹⁾に記載されている近世の関所53カ所²⁾を調査の対象とし、関所の位置、名所、重要度は図4³⁾及び表1に示す。

2. 2 調査方法

文献調査及び各市町村への教育委員会・文化財保護委員会等へのヒアリング調査及び現地での現況調査(平成7年7月~平成8年1月)を行った。またそれと併せて関所跡地の近隣の方へのヒアリング調査及びこれらの調査結果の比較・分類を行った。

3. 結果及び考察

3. 1 現地の確認

図1の通り、53カ所中47カ所の関所については当時あった場所を特定することが出来たが、残り6カ所はおおよその位置はわかるものの、正確な位置の特定が出来なかった。また現地の確認が出来た場所でも、当時の関所の敷地の領域が正確に確認できる場所はごく少数であった。

図1 現地の確認の可・不可

図2 文化財指定の状況

図3 看板、碑、史跡標柱の設置状況

*1 中田総合研究所
(〒186-0001 東京都国立市北2-27-33)
*2 武蔵工業大学工学部建築学科 助教授・博士(工学)

*1 Nakada Research Institute

*2 Assoc. Prof., Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, Musashi Institute of Technology, Dr. Eng.

表1 各関所の調査結果

No.	関所名	現所在地	街道名	A 重要度	B 現地の確認	跡地の使用状況						C 現存状況	D 文化財指定	E 看板の設置	F 碑の設置	G 史跡標柱の設置	H 復元状況	I 専門の展示館の有無	J 復元場所	K 展示機能の有無	L 絵図・図面	M 史料の所蔵先	N ヒアリングの相手
						史跡公園	宅地	農地	森林・荒地	河川敷	その他												
1	房川渡中田	埼玉県北葛飾郡栗橋町2丁目	日光街道	1	1					○		4	2	1	1	2	3	2			1	1	1
2	金町松戸	東京都葛飾区東金町8丁目	水戸街道	1	2					○		4	4	2	2	2	3	2			2	4	1
3	小岩市川	東京都江戸川区北小岩3丁目	佐倉街道	1	1							4	4	2	2	2	3	2			3	3	1
4	小仏	東京都八王子市裏高雄419	甲州街道	1	1	○	○			○		3	1	1	2	1	3	2			1	1	2
5	新郷川俣	埼玉県羽生市上新郷	八王子千人同心道	1	1					○		4	2	1	1	2	3	2			4	4	1
6	上恩方	東京都八王子市上恩方町2174	陣馬街道	2	1		○					4	3	1	1	1	3	2			4	4	2
7	上栢田	東京都八王子市	甲州道(脇往還)	2	2							4	4	2	2	2	3	2			4	4	
8	松原	東京都西多摩郡松原村469	松原街道	2	1	○				○		4	3	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3
9	中川	東京都江東区大島町8丁目	小名木川道	2	1					○		4	3	2	2	2	3	2			4	4	1
10	箱根	神奈川県足柄下郡箱根町箱根I	東海道	1	1	○						3	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	4
11	根府川	神奈川県小田原市根府川	熱海道	1	1					○		4	4	1	2	2	3	2			1	3	3
12	河村	神奈川県足柄上郡山北町山北	川村御関所道	2	1		○					4	4	2	2	2	3	2			3	1	1
13	谷村	神奈川県足柄上郡山北町谷ヶ	谷ヶ御関所道	2	1					○		4	4	2	2	2	3	2			4	4	1
14	仙石原	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原	箱根裏街道	2	1		○					4	4	1	1	2	3	2			1	3	1
15	矢倉沢	神奈川県南足柄市矢倉沢	矢倉沢往還	2	1		○					3	4	1	1	1	3	2			1	3	1
16	鼠坂	神奈川県津久井郡相模湖町寸沢嵐	小田原街道	1	1		○					4	4	1	1	2	3	2			3	3	1
17	青野原	神奈川県津久井郡津久井町青野原嵐	同志道	1	1		○					3	4	1	2	2	3	2			3	3	3
18	関宿	埼玉県幸手市大字西関宿字四谷	関宿多功道	1	1					○		4	4	1	1	2	3	2			4	3	1
19	大戸	群馬県吾妻郡吾妻町大戸	大戸道	1	1		○					4	4	1	1	1	3	2			2	4	1
20	大笹	群馬県吾妻郡嬬恋村大笹	大笹街道	1	1		○					3	3	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1
21	猿ヶ京	群馬県利根郡新治村猿ヶ京1145	三国街道	1	1					○		2	2	1	1	1	3	2			2	1	3
22	奎ヶ橋	群馬県渋川市南牧69	三国街道	1	1		○			○		2	2	1	1	1	3	2			1	1	1
23	五科	群馬県佐波郡玉村町五科	日光乳幣使街道	1	1		○			○		3	4	1	2	2	3	2			3	4	1
24	碓井	群馬県碓氷郡松井田町横川乙573	中山道	1	1	○	○		○			3	2	1	1	1	2	1	2	2	2	4	3
25	南牧	群馬県甘楽郡南牧村砥沢	南牧道	2	1		○	○				4	4	2	2	2	3	2			1	1	3
26	西牧	群馬県甘楽郡下仁田町南野牧本宿	下仁田道	2	1			○				3	3	1	2	1	3				2	3	3
27	白井	群馬県多野郡上野村橋原白井	十石街道	2	1		○					4	4	2	1	2	3	2			4	4	1
28	狩宿	群馬県吾妻郡長野原町大桑	信州街道	2	1					○		4	3	1	1	1	3	2			2	1	1
29	大渡	群馬県前橋市岩上町2丁目	(不明)	2	2							4	4	2	2	2	3	2			4	4	1
30	真正	群馬県前橋市南町2丁目	(不明)	2	2							4	4	2	2	2	3	2			4	4	1
31	福嶋	群馬県佐波郡玉村町上福島	例幣使道脇道	2	2							4	4	2	2	2	3	2			4	4	1
32	戸倉	群馬県利根郡片品村戸倉	会津街道	2	1					○		4	4	1	2	1	3	2			4	4	1
33	木曾福島	長野県木曾郡木曾福島町関町	中山道	1	1	○						3	1	1	1	1	1	2	2	1	2	3	4
34	清内路	長野県下伊那郡清内路村清内路	清内路街道	2	1		○					4	4	2	1	2	3	2			2	4	3
35	小野川	長野県下伊那郡阿智村大字智里中平	旧東山道	2	1			○				4	3	2	1	2	3	2			4	4	3
36	波合	長野県下伊那郡波合村ウトウ	伊那街道	2	1	○						3	2	1	2	1	2	2	1	2	3	4	5
37	心川	長野県下伊那郡阿南町和合	秋葉街道	2	1				○			3	3	1	2	2	3	2			4	4	1
38	帯川	長野県阿南町和合帯川	遠州街道	2	1		○	○				4	3	1	2	2	3	2			4	4	1
39	賛川	長野県木曾郡橋川村賛川1568	中山道	2	1	○				○		4	4	1	1	1	1	2	2	1	2	3	4
40	市振	新潟県西頸城郡青森町市振	北陸道	1	1		○			○		4	4	1	2	2	3	2			2	3	2
41	関川	新潟県妙高高原町関川	北国道	1	1	○	○					3	2	1	1	2	1	1	2	1	2	1	5
42	鉢崎	新潟県柏崎市米山町	北陸道	2	1		○					4	4	1	1	2	3	2			2	1	3
43	山口	新潟県糸魚川市山口	信州道	2	1			○				3	3	1	1	1	3	2			2	4	1
44	虫川	新潟県糸魚川市大谷内虫川	信州道	2	1			○				4	3	2	2	1	3	2			4	4	1
45	今切	静岡県浜名郡新居町新居	東海道	1	1	○	○					1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	3	4
46	気賀	静岡県引佐郡細江町気賀	本坂道	2	1							1	3	1	2	1	1	2	3	1	1	3	4
47	金指	静岡県引佐郡引佐町金指	金指街道	2	1							4	4	1	2	1	3	2			4	4	3
48	剣熊	滋賀県高島郡マキノ町野口	北陸道	1	1		○	○				3	4	2	2	1	3	2			2	4	1
49	山中	滋賀県高島郡今津町杉山	若狭街道	1	2				○			4	4	2	2	2	3	2			4	4	5
50	柳ヶ瀬	滋賀県伊香郡余呉町柳ヶ瀬	北国街道	1	1		○			○		2	3	2	2	1	3	2			1	1	1
51	鶴瀬	山梨県東山梨郡大和村鶴瀬	甲州街道	2	1		○					4	3	2	2	1	3	2			4	4	5
52	万沢	山梨県南巨摩郡富沢町万沢	河内路	2	1		○					4	3	1	1	2	3	2			4	4	1
53	本栖	山梨県西八代郡上九一色村	中道往還	2	1			○		○		4	4	1	2	2	3	2			4	4	1

凡 例

A 重要度

1: 重 2: 軽

B 現地の確認

1: 可 2: 不可

C 現存状況

1: 主要建築物が現存 4: 付随建築物が現存 5: 3: 石垣・礎石等が現存 4: 現存要素なし

D 文化財指定

1: 国指定 2: 都道府県指定

3: 市町村指定 4: 未指定

E 看板の設置

1: 設置済み 2: 未設置

F 碑の設置

1: 設置済み 2: 未設置

G 史跡標柱の設置

1: 設置済み 2: 未設置

H 復元状況

0: 現存 1: 主要建築物を復元済み

2: 付随建築物を復元済み 3: 未復元

I 専門の展示館の有無

1: 有り 2: 無し

J 復元場所

0: 現存 1: 当時と同一位置

2: 隣接地 3: 別地

K 展示機能の有無

1: 有り 2: 無し

L 絵図・図面

1: 平面のわかる程度のもの

2: どの様な建物があるかわかる程度のもの

3: 敷地の様子も判然としないう程度のもの

M 史料の所蔵先

1: 個人 2: 展示館 3: 図書館 4: 不明

N ヒアリングの相手

1: 近隣にお住まいの方 2: 元関守の家の方

3: 郷土史家の方 4: 資料館員等

5: 役場の方

図4 近世関所所在地

1. 主要建築物現存	2. 付随建築物現存	3. 石垣・礎石等が現存	4. 現存要素なし
写真1 今切	写真2 空ヶ橋	写真3 浪合	写真4 虫川

現存状況の例

1. 主要建築物復元済み	2. 付随建築物復元済み	3. 未復元
写真5 気賀	写真6 関川	写真7 碓井
		写真8 仙石原

復元状況の例

3.2 史跡としての整備状況

3.2.1 文化財指定

図2の通り、53カ所中26カ所が史跡もしくは旧跡として文化財の指定を受けている。しかし、ほとんどのものが昭和になってからの指定であり、すでに当時の様子を伝えるような、はっきりとした遺構が残っているところは少なくなっている。

3.2.2 看板・碑・史跡標柱の設置

図3の通り、設置状況は過半数以下になっており⁹⁾、また、いずれかを設置している場所は53カ所中42カ所で、残り11カ所は何もなかった。これは、幹線道路の拡張整備、河川の治水整備に伴い、主要な街道沿いに整備されていた関所または跡地が収用されたことによると考えられる。

3.2.3 関所跡地の使用状況

ほとんどの関所跡地は廃関後に民間もしくは地方自治体に払い下げられたが現在の関所跡地の使用状況は表1⁷⁾に示されるとおりである。もっとも関所跡地の使用状況として目を引くのは、宅地で28カ所と一番多いことである。また、9カ所は史跡公園として整備されているが、地域の人々が史跡に親しむという機能を十分に果たしているところはさらに少ない。

3.3 関所の現存状況

関所の現存状況は図4にあるとおりであるが、主要建築物である本番所が現存しているところは、非常に少ない。当時のままの本番所を見ることが出来るところは、今切（新居：写真1）のみとなっている。⁸⁾また、役宅等付随の建築物が現存するのは猿ヶ京、奎ヶ橋（写真2）、柳ヶ瀬の3カ所となっている。また、はっきりとした関所の遺構⁹⁾が現存しているところも少ない。

関所の現存していない理由はいくつかあるが、その最大の要因は新政府が明治2年に全国の関所に廃関の令を公布し取り壊されたことである。また、廃関から数十年の間は関所が文化財としての価値を持つとは考えられなかったことも大きな要因である。

3.4 復元状況

現在までに何らかの形で復元がなされているところは図5にある通り、52カ所中（現存している今切は除く）8カ所である。

復元カ所は関門がもっとも多く8カ所、とくに大笹と碓井（写真7）では柱や門扉など当時の部材を用いて復元している。

本番所の復元を行っているところ4カ所となっている。本番所の復元を行ったところが少ない要因は、正確な図面等の入手が困難であること、廃関後に敷地が個人等に払い下げられたこと、予算がないことなどが挙げられる。また、関川（写真6）では平成9年に「道の歴史館整備事業」として復元され、波合（写真3）では平成4年に南門を復元し、本番所の復元を計画中である。

本番所の復元が行われた箱根、木曾福島、賛川、気賀（写真5）ではどれも展示機能¹⁰⁾を備えており当時の様子を再現したり資料の展示・解説等を行っている。なお箱根、碓井、今切には独立した専門の展示館があり資料の展示や当時の旅の道具等の展示がなされている。また、ほとんどの関所が関所跡地もしくはその隣接地に復元しているが、気賀では跡地から1kmほど離れた場所に本番所、向番所、遠見番所等多くの建築的要素を「ふるさと創生事業」により復元している。

3.5 絵図・図面の現存状況とその所蔵先

絵図・図面等についてはもっとも当時の様子を詳しく伝えているものについての調査結果であるが、これらの絵図・図面等についてもすべての史料が公開されているわけでない¹¹⁾。そのために全容を把握することが困難ではあるが可能な限りの調査を行った。

また、絵図・図面の詳しさについてはばらつきが多いので、表1の凡例に示すように間取りが書いてあるもの、どの様な建物があるかわかる程度のもの、関所があることが分かる程度のものの三つに大別した。

平面の構成がわかる程度に詳細な図面は12カ所であるが、立面等

図5 現存状況

図6 復元状況

図7 絵図・図面の内容

が詳しくでているものはない。このことから関所の復元に関しては極めて不確定な要素が多く、当時のままに、復元することは極めて難しい作業である。

4. まとめ

近世の関所の現存、復元状況及び絵図面等の状況が乏しい主な理由として次のことが挙げられる。

- (1) 明治政府によって廃関の令が公布された。
- (2) 昭和になるまで文化財として認知されなかった。
- (3) 交通インフラの近代化に伴い道路、河川等の整備が進展した。
- (4) 本番所は住居として機能性に乏しいため転用されなかった。

5. 今後の課題

- (1) 口留番所、境目番所、遠見番所の現況調査
- (2) 絵図写真等の資料と復元・再現の実態の比較検討
- (3) 施設の活用の観点から、歴史的に貴重な数少ない現存建物および史跡などを文化財として、単に保存を目的にすることに留まらず、地域の交流の場など積極的な地域住民参加のまちづくりの拠点として、ソフト事業を重視した復元及び再現整備が肝要である。

謝辞

本調査にあたり貴重な資料のご提供や、ご指導をいただいた新居関所資料館切池融氏、考現社伊藤裕章氏に感謝いたします。また現地調査の際に多くの関係の方々にご協力頂きました。御礼申し上げます。
当論文は加瀬知勇氏の卒業論文を元に加筆及び修正いたしました。

注

- 1) 近世関所制度の研究, pp. 49
- 2) 18世紀中期における幕府認可の正式な関所
- 3) 街道は主要なもののみを記した。
- 4) 主要建築物は本番所等の取調機能を持つ建築物を示す。
- 5) 付随建築物は役宅、門等、注4)を除く建築物を示す。
- 6) 史跡案内の看板等によっても現地に何も無い場所は除く。
- 7) 跡地の使用状況では道路は割愛している。
- 8) 気賀では本番所の屋根の一部が現存している。
- 9) 例えば礎石や石垣の現存しているもの。
- 10) 復元された番所等の内部に展示館の機能を持つもの。
- 11) 文書館等で整理中であつたり、個人所有であるため。

参考文献

- 1) 五十嵐富夫：近世関所制度の研究，有峰書店，1975
- 2) 勝又英明、加瀬知勇：近世関所の現状調査 日本建築学会関東支部研究報告集 pp193～196，1997.3

[2001年4月20日原稿受理 2001年7月27日採用決定]